



第 42 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスコイ人

曾於市内のスコイ人にスコイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスコイ人、田之上より子さんにご紹介いただいたこの方は、「若くして曾於市初のパン屋を始めたスコイ人」とのこと。インタビュアーは大村信夫でお届けします。



【今回のスコイ人】

Fun BAKERY

山下 眞貴子さん

今回は大隅町のご出身で、4年前に大隅町八合原でパン屋のFunをオープンした山下眞貴子さんにお話を伺ってきました。

お店の名前は、「パンを作るのが好き、楽しいということを外へ伝えたかった」という想いから。また店舗には「パンの香りに包まれながら、朝から贅沢な気分を味わってほしい」とイートインを併設。地元である曾於市を中心に串間市や都城市あたりからも、人が訪れるほど人気なパン屋です。

「パンを作るのも好きで、また焼ける香りも好きで。パン屋になろうと思ったんです」

高校卒業後、鹿児島市内の有名店や自分が作りたいと思うパン屋など約10年をかけて回りました。そこで仕込みから販売までみっちり勉強。ひとり立ちするタイミングで曾於市に戻ってきました。

「曾於市が大好きなので、地元以外での出店は考えていませんでした。ゆったりとした時が流れ、ゆったりとした人たちの中でお店をやり

たかったんです」

お仕事は長時間に渡るため大変な事もたくさんありますが、周りのスタッフの方などに助けられながら乗り越えてこられたそう。「お客様の美味しかったとの言葉が本当に嬉しい」と一番のやりがいを感じてくれました。

また、いろんなパンを味わってほしいとこちらでは少し珍しいハード系のパンまで、今では最大50種類を販売。日々、味の組み合わせを学ぶためにケーキ屋さんへ行ったり、パン屋巡りをするなど研究も欠かしません。

「新しい商品を開発してもお客様一人一人が好きなた味を持たれていくので、なかなか削れない」という悩みもあるそうですが、販売する曜日を変えるなど工夫しながら販売されています。忙しいながらも「まだまだやりたいこともあるので、一つずつ出来る範囲でやっていきます」と目を輝かされていました。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

「ただパンを作るのが好き」から始まり、ここまでのお店に発展。山下さんの想いを聞くにつれ「好き」というたった一言の重さを、より一層感じました。香ばしい香りにも包まれた、素敵な時間でした。



協力隊の今日この頃

地域おこし協力隊に着任して、ちょうど1年を迎えました。曾於市内外問わず、いろんな方とのご縁にただただ感謝です。

コロナウイルスが蔓延して、不安な日々が続いたかと思えます。まだまだこの影響は続きそうですね…。なにか自分たちにできることはないかと三股町の協力隊江森さんと一緒に動いています。

その中で曾於市内の農家さんや養鶏家さん、三股町の農家さんにご協力いただき素敵な食材の詰め合わせセットの商品化を実現することが出来ました。こちらの全国販売のお手伝いをしていきます。第2弾はもっと幅を広げて、色々な方々との協働を目指していきたいと思っています。よろしく願い致します。ペコリ

また5月中旬になり、ようやく中学校にも元気な声が響くようになりました。やっぱり生徒さん達の顔を見ると、元気になります！残り2年！せっかく素敵なご縁を頂いた曾於市の皆様に少しでも恩返しするべく頑張っていきます！

